



朝一小だより

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



活気があふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

朝霞市立朝霞第一小学校

令和6年11月1日

児童数 588名



夢をかなえるための準備

校長 金子 二郎

10月半ば過ぎまで半袖が活躍するなど、異常とも言える暑さが続く一方で、中秋の名月そして先月の十三夜と美しい夜空に秋の訪れが感じられます。校地中庭の金木犀の香りも季節の移ろいを教えてくれます。保護者や地域の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。昨今は夏と冬ばかりで春と秋があつという間に過ぎてしまう感が否めませんが、一小の児童も短い秋を味わうことができたらと願います。



先月12日には秋晴れに恵まれ、多くの保護者、ご来賓、地域の皆様にお越しいただく中で運動会を開催



することができました。一生懸命走り、ひたむきに演技する姿を目の当たりにし、応援する大人もパワーを分けてもらえました。頑張った子供の中には勝負に拘る者も少なくなく、暑い夏の盛りから走ったり練習したりしてきた児童もいます。試合に臨むための準備について、パリ2024パラリンピックで見事に金メダルを獲得した車いすラグビー日本代表の池崎大輔さんが、8月に日本を発つ前に意気込みを聞か

れ次のような話をしてしています。「勝つために準備している。例えば『忘れ物をしない』。でも忘れ物をしない準備だけではなく、『忘れ物をした時にどう対応をするのか』という準備もしておかなきゃいけない。良いプレーのイメージだけではなく、『うまくいかなかったこと』も想定しながら、しっかり自分のメンタルがブレないような準備もしなければと思った。なんでも『100%にやろう、完璧にやろう』となった時に、うまくいかないとどうしても気持ちってブレてしまう。だからプレーも乱れてしまう。『パスミスは1回か2回はするだろう』『上手くいかない』こともあるけど、それを取り返すためには『もっともっとディフェンスでこうしていこう』といろんな準備をしている。うまくいかなかった時のネガティブなパターンも想定をしながら準備を進めている。そうしないと良いことばかりを頭の中でイメージしても、できなかった時には『どうしよう』とパニックになってしまう。できないとなった時にどうリカバーするのか。できないこともある、失敗することもミスもある。ミスもしっかり準備の一つとして考えに入れてお



きながらも、今までやってきたことに自信を持ってやることによって、しっかり自分自身のコントロールがうまくできるんじゃないかなと思う。」イメトレという言葉が一般的となりましたが、池崎選手は良いゴールイメージだけでは必ずしも夢がかなう訳ではないことを教えてくれます。運動会でも実力とそれまでの努力の積み重ねを遺憾なく発揮することができた児童とそうでない児童がいます。必要以上に結果に拘泥することなく、頑張った過程を子供も大人もその後の生き方に生かすことができればと思います。



日常生活でいい判断ができないやつに、グラウンドでいい判断ができるわけがない。(平尾誠二)



日常生活でいい判断ができないやつに、グラウンドでいい判断ができるわけがない。(平尾誠二)